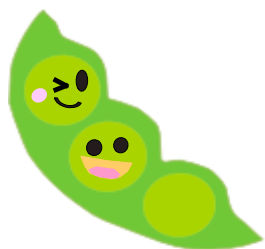


4月1日に津島市全域にむけて豆ボラ神守のチラシを発行いたしました。

チラシ作りにはたくさんの方にご協力いただき、地域のみなさまが読みやすい紙面となるよう作成しました。

機会がありましたらご意見ご感想などをメールでお聴かせいただくと嬉しく思います。

お手元に届かず、ご希望の方には郵送にてお送りいたしますので、ご連絡ください。



紙面に掲載しきれなかったみなさまのお声を、この場を借りて順次ご紹介させていただきます。

まず第一弾は、中学校の先生と卒業生の方からのお声をどうぞ♪



#### A 先生 神守中5年勤務のベテラン教諭

豆ボラ設立以前の神守中学校は「正直、学校が荒れていて大変だなあ」と感じていました。

赴任して【学校支援地域本部】という言葉を知った時は、良く分からず「何をするとところ？」という感じでした。

しかし、月テラ・ドテラをのぞかせていただいた時、教室ではなかなか勉強に積極的になれていなかった子が自分に合った学習をすることで、真剣に取り組んでいる姿があり、この子たちには必要なだと強く感じました。

その他の活動でも、地域の方の目が学校に向いていると感じていることができている。他の地区でも同じような活動が始まっています。ずっと続くことを願っています。

月テラ・ドテラとは…  
月曜と土曜に開催される寺子屋  
大学生や元教員のボランティアが  
学習支援する活動

#### B 先生 神守中在任3年で他校へ異動されたベテラン教諭

神守中にいるときよりも、転勤してみてもありがたさがよくわかります。心の支えになっていました。

最初は、豆ボラの全体像が見えず理解ができなかったため、どう接して良いかがわからず、申し訳なかったです。若い先生方はもっとわけがわからなかったように思います。

でも、一緒に活動したり、やっていただいていることがわかったりしてしっかり感謝できるようになりました。翌年度は、もうなくてはならない存在でした。

現在勤務している学校にも豆ボラを卒業して先生になった教職員がいます。そういう点でも大学生ボランティアさん方をよく育てていただいていると思います。



#### C さん 神守中卒業生で大学生ボランティアを2年経験 今春より小学校教諭

私が通っていた8～9年前は、中学校内で知らない人を見ると「あの人誰？何しに来たの？」と思い、そんな視線を送るだけで、挨拶はしませんでした。「大人はどうせわかってくれない！」等と大人と子どもとの間に何か壁があるような雰囲気がありました。

今の神守中は、外部の人がいても当たり前のように話をしたり、活発に活動していたりして明るい印象です。現在私自身、月テラやドテラでしか子どもたちと関わる時間はないのですが、神守中自体が小さな社会になっているような雰囲気があります。また外部(地域)の方の支えもあり、神守中が地域に包まれているように感じます。



A 先生、B 先生、C さん、お忙しいところ貴重なお話をありがとうございました。

近日中に第二弾を掲載いたします。しばらくおまちくださいね。

